

ねらい

読解 ▼ 14単元の内容を確認しておきましょう。
 文法 ▼ 助動詞2



1 次の古文を読んで、あとの問いに答えなさい。

物のあはれを知るといふ事、まづすべて「あはれ」といふは、もと見るもの^①聞^②く物ふるる事に、心の感^③じて出^④づる嘆息の声にて、今の俗言にも、「ああ」と言ひ、「はれ」と言ふ、是なり。たとへば月花を見て感じて、「ああ、見ごとな花ぢや。」はれ、よい月かな。など言ふ。「あはれ」といふは、この「ああ」と「はれ」との重なりたる物にて、漢文に「嗚呼」などある文字を、「ああ」と読^⑤むもこれなり。

(本居宣長『源氏物語玉の小櫛』)

- *1 もと＝本来。もともと。
- *2 ふるる＝触れる。
- *3 俗言＝世間一般に使われている言葉。
- *4 はれ＝ああ。やれ。まあ。
- *5 漢文＝漢文で書かれた書物。

問一 〈文脈〉 古文中には「」が一か所抜けています。「」がつく部分を古文中から書き抜きなさい。

問二 〈かなづかい〉 線①「まづ」、②「たとへば」を現代かなづかいに直して書きなさい。

問三 〈内容理解〉 「あはれ」というのは、もともと何ですか。それが示されている部分を古文中から二十五字で探し、その初めと終わりの五字を書き抜きなさい。

① _____

② _____

問四 〈内容理解〉 「あはれ」という言葉はどのようにしてできましたか。次の文の□にあてはまる言葉を古文中から書き抜きなさい。

「あはれ」は、「と」とが重なってできた。

問五 〈語句〉 線①②の「の」のうちから、その文節が主語であることを示す「の」を一つ選び、記号で答えなさい。

問六 〈内容理解〉 この古文の内容と合っているものを次のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「あはれ」とは、月や花などの自然の情景を見て感動したという意味の言葉である。
- イ 「あはれ」という言葉は、何かに感動したときに思わず出る感嘆を表す語である。
- ウ 「ああ」と「はれ」は、「あはれ」という言葉が二つに分かれてできた語である。
- エ 「あはれ」は、漢文で書かれた書物に出てくる「嗚呼」という語が変化してできたものである。

2 次の古文を読んで、あとの問いに答えなさい。

桜といふ花こそ万の花にも勝れにたれ。この花、唐国には生ひず、我が大和の国のみにおいて、めでたき花の限りなりけり。昔、唐国より引き来て植ゑしといふ梅の花、亦めでたき花なりといへども、時いと早くして、ふる雪にまじり咲き出たる、見る袖も寒けかりけり。すべて一年のうちにも、やよひの頃ぞいと比ひなき。久方の光麗かに、足引のあらしの音も静かなるに、白雲のかかるがごとく咲き匂ひたる桜の花にしく物ななかりける。

(鹿持雅澄『山斎集』)

*1 唐国＝中国。

*2 比ひなき＝比べるものがないほどすばらしい。

*3 久方の＝「光」にかかる枕詞。

*4 足引の＝「山」や「峰」にかかる枕詞。ここでは「あらし」にかかっている。

これは、「嵐」という漢字が山と風に分けられるところからの連想によるもの。

問一 〈現代語訳〉——線①「めでたき花の限りなりけり」の現代語訳として

最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア めずらしい花の一つである。
 イ 美しい花の最高のものである。
 ウ あまり見ばえのない花である。
 エ 花の種類は数限りないほどである。

問二 〈かなづかい〉——線②「植ゑしといふ」を現代かなづかいに直して、

すべてひらがなで書きなさい。

問三 〈内容理解〉——線③「時いと早くして」とありますが、何が大変早い

のですか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 中国より日本に輸入された時期。

イ 花が咲いてから散ってしまうまでの期間。

ウ 実のなる時期。

エ 花の咲く時期。

問四 〈動作主〉——線④「咲き出たる」の動作主を古文中から書き抜きなさい。

い。

問五 〈内容理解〉——線⑤「見る袖も寒けかりけり」とありますが、何を

て、寒そうに感じたのですか。その情景を現代語で説明しなさい。

問六 〈古典常識〉——線⑥「やよひ」とは、旧暦の何月のことですか。

問七 〈内容理解〉この古文の内容と合っているものを次のうちから一つ選び、

記号で答えなさい。

ア 桜の花は日本古来のもので、うららかな春の日に白雲がかかるように咲く姿が何にもましてすばらしい。

イ 梅の花は、昔中国から入ってきたものであるが、雪の降る時期に白い花を咲かせるのが何とも言えず美しい。

ウ 桜の花は、日本独自の花であり、梅の花と並んで、美しい花の代表格とされている。

エ 梅の花も桜の花もやよひのところに咲くものが、何にもまして美しいものである。

3 次の古文を読んで、あとの問いに答えなさい。

神無月のころ、栗栖野といふ所を過ぎて、ある山里にたづね入ることはべりしに、はるかなる苔の細道を踏み分けて、心細く住みなしたるいほりあり。木の葉にうづもるるかけひのしづくならでは、つゆおとなふものなし。閑伽棚に菊・紅葉など折り散らしたる、さすがに住む人のあればなるべし。
 *4 かくてもあらはれるよ、とあはれに見るほどに、かなたの庭に、大きな柑子かきの木の、枝もたわわになりたるがまはりをきびしく囲ひたりしこそ、少しこことさめて、この木なからましかば、と覚えしか。
 (兼好法師『徒然草』)

- *1 いほりあり||小屋があった。
- *2 つゆおとなふものなし||まったく訪れる人がない。
- *3 閑伽棚||仏に供える水や花などを置く棚。
- *4 かくてもあらはれるよ||こんなふうにしてでも生活できるのだなあ。

問一 〈古典常識〉——線①「神無月」とは、旧暦の何月のことですか。

[] []

問二 〈現代語訳〉——線②「さすがに住む人のあればなるべし」の現代語訳

- として最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。
- ア これでも人が住めるかどうか疑わしいものだ。
 - イ これでも住んでいる人がいるはずだ。
 - ウ やはり住んでいる人があるからなのだろう。
 - エ こんなふうではだれも住んでいないのだろう。

漢字の読み書き21

- ① 弟の頼みを拒否する。 □⑥ 粗雑な扱いをやめる。
- ② 健康診断を受ける。 □⑦ 軒先で雨宿りする。
- ③ 賢明な処置を行う。 □⑧ 彼のしぐさは滑稽だ。
- ④ 硬い鉄でできている。 □⑨ 優しい姉を慕う。
- ⑤ 奉仕活動に参加する。 □⑩ 雇った人員に余剰が出る。

- ⑪ ショウライの夢を語る。
- ⑫ キンニクの発達した選手。
- ⑬ 勝利をオサめる。
- ⑭ 寝る前に窓をシめる。
- ⑮ 平和国家をセンゲンする。

問三 〈心情〉——線③「あはれに見るほどに」とありますが、ここからどんな気持ちかわかりますか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 心を打たれてしみじみとした気持ち。
- イ 貧しい暮らしをかわいそうに思う気持ち。
- ウ みじめな暮らしにがっかりする気持ち。
- エ のどかな山里の暮らしにაცოგარれる気持ち。

問四 〈語句〉——線③の「あはれ」と反対の意味で用いられている言葉を、古文中から五字で書き抜きなさい。

[] [] [] [] []

問五 〈内容理解〉——線④「少しことさめて」とありますが、それはなぜですか。その理由を現代語で書きなさい。

[] [] [] [] [] [] [] [] [] []

問六 〈内容理解〉 筆者の心情はどのように変化しましたか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 興ざめ↓失望
- イ 感嘆↓感激
- ウ 感嘆↓やや興ざめ
- エ 感嘆↓興奮

4 次の古文を読んで、あとの問いに答えなさい。

今はむかし、ここかしこの中間・小者^{*1}あまた一所に集まりて、をのれをのれ^①が主君のあしき事どもを、たがひに語り出だしてそしる^②。その家の小者、わが主君のあしき事を語り出ださんと思ひて、これの御屋形^③はどこのにもあるまい。もはや人ではない。畜生^{*2}ぢや、といはんとして、うしろ方^{かた}を見れば、御屋形殿^{どの}うしろに立ちておはしけるを見つけて、「人ではない。」といひ直して、「仏ぢや。」^④と語りし。まことにをかしき事ながら、人の後言^⑤をばすべていふまじき事なり。孟子のいはく、「人の不善をいはば、まさに後のうれへをいかがすべき。」^⑥といへり。
(浅井了意『浮世物語』)

- *1 中間・小者あまた＝身分のあまり高くない使用人が大勢。
- *2 御屋形ほどなは＝ご主人ほどの者は。
- *3 をかしき事ながら＝おもしろい話だが。
- *4 すべて＝決して。
- *5 孟子＝中国の思想家。
- *6 うれへをいかがすべき＝災難をどうにもできない。

問一 〈かなづかい〉——線①「をのれ」を現代かなづかいに直して書きなさい。

問二 〈動作主〉——線②「そしる」、④「見つけて」の動作主を古文中からそれぞれ書き抜きなさい。



問三 〈現代語訳〉——線③「これの御屋形ほどなはどこにもあるまい」にこめられた気持ちとして最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア この家の主人ほどすばらしい人はどこにもいない。
- イ この家の主人ほどひどい人はどこにもいない。
- ウ この家の主人はどこにいるのだろう。
- エ この家の主人のような人はどこにでもいる。

問四 〈内容理解〉——線⑤「まことにをかしき事ながら」とありますが、どんなところがおもしろいのですか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 小者が、主人が後ろにいることに気づかないで、主人の悪口を言い続けたところ。
- イ 主人が後ろにいることを知っていた小者が、わざと主人に聞こえるようにほめたところ。
- ウ 主人の悪口を言おうとしていた小者が、とつさにほめ言葉に言い換えたりつくりつったところ。
- エ 小者が主人をほめようと思って言った言葉が逆に主人を怒らせてしまったところ。

問五 〈現代語訳〉——線⑥「人の後言をばすべていふまじき事なり」とありますが、その理由を現代語で書きなさい。

問六 〈内容理解〉 この文章にはどんな教訓が書かれていますか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 人の悪口は決して言ってはいけない。
- イ 人に悪口を言われるようなことをしてはいけない。
- ウ 人に悪口を言われても気にしてはいけない。
- エ 人に悪口を言われたときは素直に反省すべきだ。

5 次の古文を読んで、あとの問いに答えなさい。

田舎あなよりはじめて京に上りたる人、三条あたり*1に宿をとり、東山*2へ見物に出るとて、下人*3をよび、「京は家づくり同じ様やうにて、見知りにくいぞ。何にても心*4じるしをして、よく覚えよ。」と言ひつくる。「心得申したる。」とうけごうて、さて方々見物して帰り、「洗足*5とれ。」とて先へつかひければ、案のごとく忘れ*6て、ここかしこを尋ねあるく。さればこそと思ひ、「しるしは。」と問えば、「異な事ぢや、見えぬ。」と言ふ。「何をしるしぞ。」と重ねて問ふ。「いや、たしかに、門柱*7に唾つばにて書き付けをしておきたる。」と言ふ。「沙汰*8のかぎり。」それが役に立つものか。」とて、さんさんに叱*9れば、「まだしるしがある。」「何ぞ。」

〔きのふはけふの物語〕

- *1 三条、*2 東山ともに京都の地名。
- *3 下人め召し使い。
- *4 うけごうてうけ合つて。
- *5 洗足せんぞくとる先に行つて) 足を洗う準備をする。
- *6 さればこそ案の定だ。

問一 線①「忘れて」について、次の(1)・(2)に答えなさい。

(1) 〈動作主〉 だれが忘れたのですか。古文中から書き抜きなさい。

(2) 〈内容理解〉 どんなことを忘れたのですか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 足を洗う準備をするのを命じられていたこと。
- イ 自分たちの泊とまっている宿に目印をつけたこと。
- ウ 自分たちの泊とまっている宿はどこかということ。
- エ 自分がつけた目印がどういう目印であったかということ。

問二 〈内容理解〉 線②「沙汰のかぎり」とは、どういう意味ですか。最

も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 期待していた通りだ。
- イ もつてのほかだ。
- ウ たいしたことではない。
- エ やむをえないことだ。

問三 〈指示語〉 線③「それ」の指している内容を現代語で書きなさい。

問四 〈文脈〉 線④「叱れば」とありますが、だれがだれを叱つたのですか。古文中からそれぞれ書き抜きなさい。

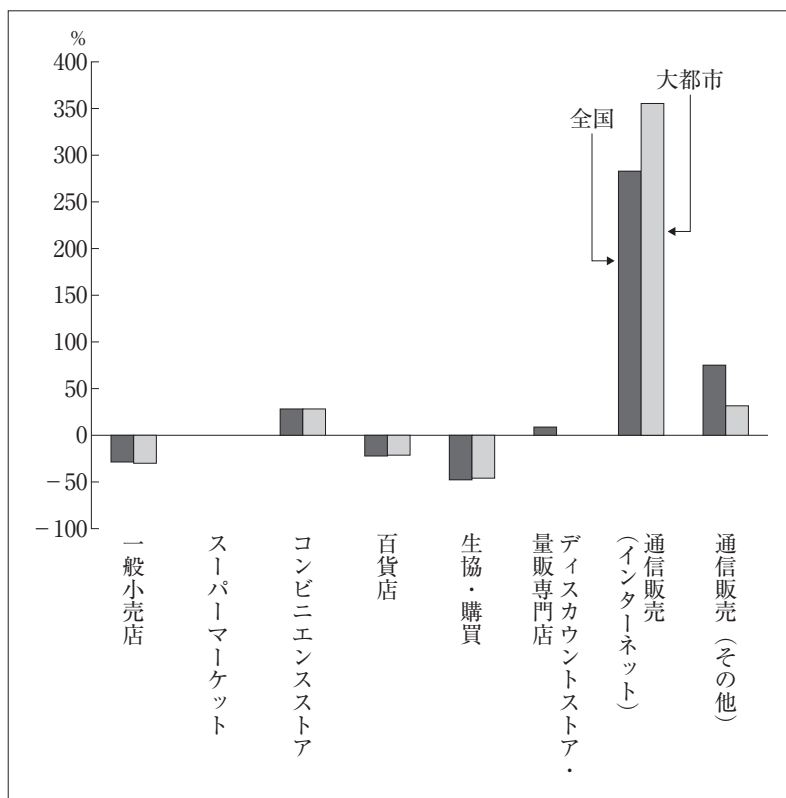
だれが
だれを

問五 〈文脈〉 線⑤「あてはまる下人の言葉として最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。」

- ア 屋根に蔭かげがとまりていたが、はやこれもおらぬよ。
- イ 大きなるもみの木を小刀で削けりたるに、これも見えぬよ。
- ウ 火の見やぐらのすぐ近くと覚えていたが、はやどこぢや。
- エ 四つ辻つじのくれなるの旗を心じるしにしたるに、はや行き過ぎたるか。

問六 〈主題〉 この話のおもしろさはどこにありますが。現代語で書きなさい。

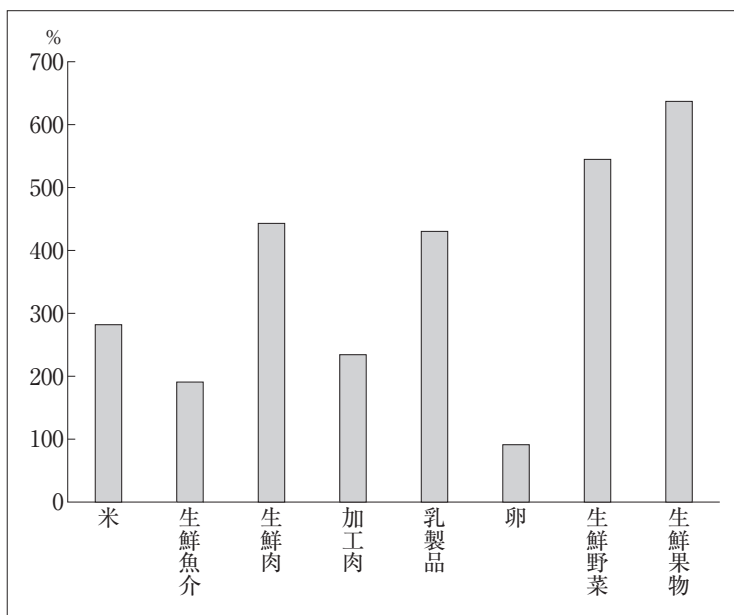
【資料1】 食料の購入先別の支出額の増減率
(平成16(2004)年と平成26(2014)年の比較)



- ① ④に従って書きなさい。
- 【注意】
- ① 題名は書かずに本文から書き出すこと。
 - ② 第一段落には、【資料1】【資料2】のどちらか、あるいは両方の内容を取り上げて書くこと。ただし、数値は示さなくてもよい。
 - ③ 第二段落には、あなたの意見とその根拠を明確に書くこと。
 - ④ 原稿用紙の正しい使い方に従い、全体を二百字以上、二百六十字以内にまとめること。

2 【資料1】【資料2】は、食料の購入先と、ネット通販での購入品目について調べた結果を示す資料です。この結果についてのあなたの意見を、次の【注意】

【資料2】 ネット通販による品目別支出額の増減率
(平成16(2004)年と平成26(2014)年の比較)



(【資料1】【資料2】ともに、農林水産省「平成29年度 食料・農業・農村白書」より作成)

27 作文(2)

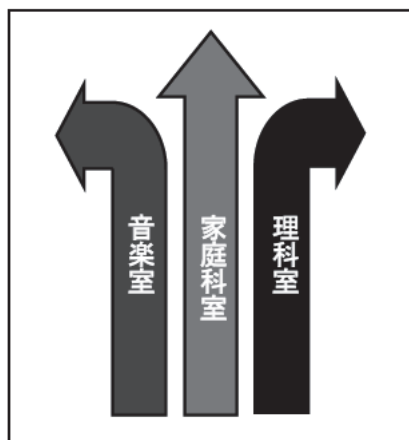
漢字の読み書き27

- ① あきらめずに粘る。
- ② 人の魂をゆさぶる。
- ③ 合格の吉報が届く。
- ④ 僅差で勝利する。
- ⑤ 利子が殖える。
- ⑥ 繁華街の地価が高騰する。
- ⑦ 惜別の情がこみあげる。
- ⑧ 証人として召喚される。
- ⑨ 世の悪に憤慨する。
- ⑩ 憩いの時間にくつろぐ。
- ⑪ 木の太いミキ。
- ⑫ カスがインタイした。
- ⑬ ナマタマゴを割る。
- ⑭ ゼンボウから立ち直る。
- ⑮ ブッキョウを信仰する。

3 新入生に移動教室がわかりやすいように、教室の案内を工夫することになりました。そのことについて、次の二つの案が出ましたが、あなたならア、イのどちらの案を選びますか。あなたの考えを、次の「注意」に従って書きなさい。なお、選んだ案の記号は、必ず所定の欄に書き入れること。

ア 壁に掲示をする。

イ 床にルート（道筋）を示す。



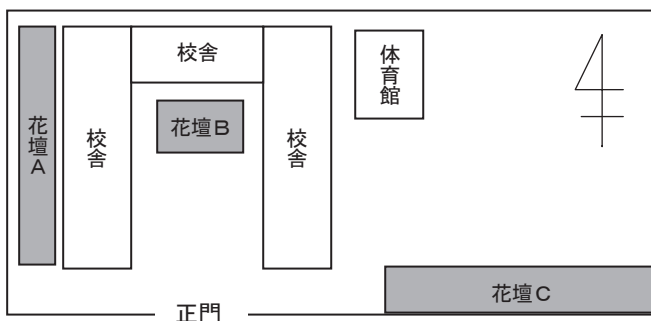
〔注意〕

- 適宜段落を分けて、自分の選んだ案について、理由を明確にして書くこと。
- 原稿用紙の正しい使い方に従って書くこと、ただし、題名や自分の氏名は書かないこと。
- 全体を百五十字以上、百七十字以内にまとめること。

選んだ案の記号（ ）

- 1 二段落構成とし、第一段落ではどこに何を植えるかの計画を書き、第二段落では、そのように計画した理由を書くこと。
- 2 全体を百八十字以上、二百字以内でまとめること。
- 3 題名や氏名は書かないで、本文から書き始めること。

〔注意〕



植物	特徴
インパチェンス	花はミニバラに似た華やかな見目で、次々に花が咲く。色や種類も多い。 乾燥に弱く、半日陰を好む。
アサガオ	生育が盛んで、緑のカーテン向き。 朝夕の水やりが必要。 花が美しく、長く咲き続ける。
ミニトマト	強い日照を好み、多湿を嫌う。 支柱を立てる必要がある。 栄養価の高い実が収穫できる。

4 美化委員会の丸本さんたちは、植物の種や苗の提供を受けました。どの花壇に何を植えるかについて、計画を立てています。あなたなら、どこに何を植えますか。次の資料を参考にして、あとの〔注意〕に従って書きなさい。
